

不凍水栓柱

D-X交換用ロット一式

施工説明書

- 本製品は不凍水栓柱D-Xに異常・故障が発生した際や、メンテナンスが必要とされた場合に使用する部品一式です。
- この施工説明書をよくお読みいただき、正しく部品を交換して下さい。



施工説明書の記載内容および製品の仕様は、品質改良のため予告なしに変更する場合があります。

安全上のご注意




ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工して下さい。

■安全表示について




危害、損害の程度を警告・注意に分けて表示しています。

 警告	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
 注意	火傷やけがを負う恐れや物的損害が発生する恐れがあることを示します。

図記号の種類と意味

	してはいけないこと。(行為の禁止)
	注意すること。(注意の喚起)
	必ず行うこと。(行為の強制・指示)

⚠ 注意

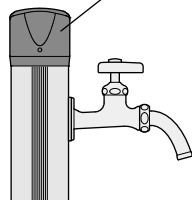
- 指示されている以外の分解をしないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- 落下等による衝撃を与えないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
-  火気や熱源を近づけないで下さい。部品の劣化や変形により、作動不良の原因になります。
-  水栓金具や外筒をつかんで無理に回さないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- ベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤入りの洗剤は使用しないで下さい。塗装が剥がれたり、印刷が消えたり、部品が溶ける恐れがあります。
- 止水栓を閉じてから作業をおこなって下さい。内部構造が飛び出したり、漏水の原因になります。
- ねじ部の締め付けは工具を用いて確実におこなって下さい。締め付けが不十分だと作動不良や漏水の原因になります。
-  作業時は保護具を使用して下さい。けがをする恐れがあります。
- 作業後、配管内の洗浄をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
- 作業後、不凍水栓柱が正常に作動することと漏れが無いことを確認して下さい。
- 不凍水栓柱D-Xの施工説明書も参考にして下さい。

施工方法

1. 作業前に

- ①不凍水栓柱の1次側にある止水栓を開けて下さい。
- ②シャワーホースを吐水口からはずして下さい。
- ③不凍水栓柱を水抜き操作し、水栓金具(蛇口等)を全開にして下さい。
- ④水抜きが終わったら、通水操作をして下さい。

水抜きした後
通水にする

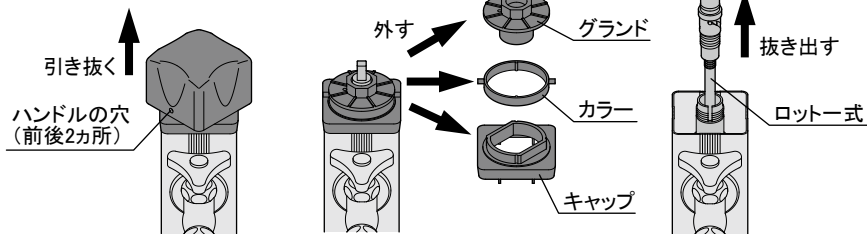


❗ 製品内の水圧を抜くこと

2. D-Xロットー式の抜き出し

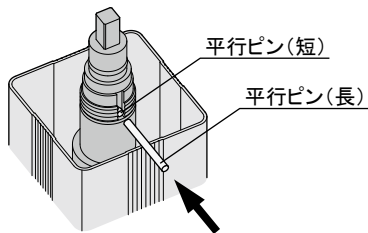
- ①ハンドルを通水と水抜きの中間位置にし、ハンドル側面の穴(2カ所)に先のとがったもの(ドライバー等)を押し込み突起をはずし、ハンドルを上引き抜きます。
- ②グランドを緩め、グランド・カラー・キャップをはずします。(八角面幅24mm)
- ③ロットー式を抜き出します。

※取り外したハンドル・グランド・カラー・キャップ・ロットー式は再使用しません。



※ロットー式を抜き出せない場合は、付属の平行ピンを使用すると抜き出せます。

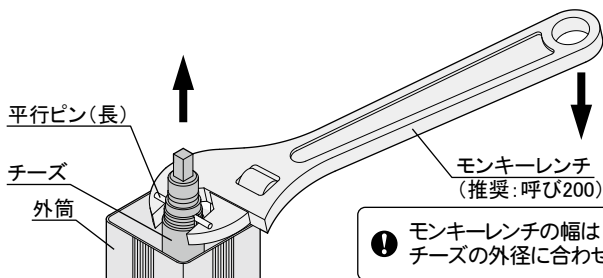
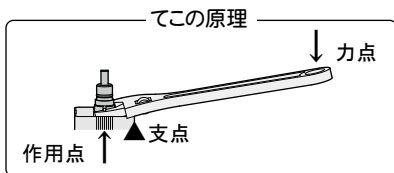
- ❶ロットー式の平行ピン(短)を付属している平行ピン(長)に交換します。



② 外筒に布等を当て、平行ピン(長)にモンキーレンチをかけ、てこの原理を利用してロッター式を抜き出します。

⊘ チーズの溝を変形させない

⊘ 外筒を変形させない



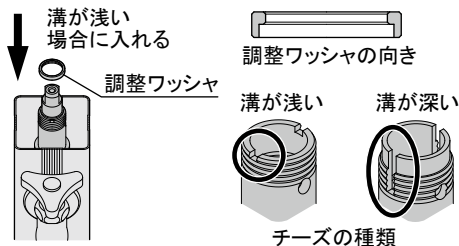
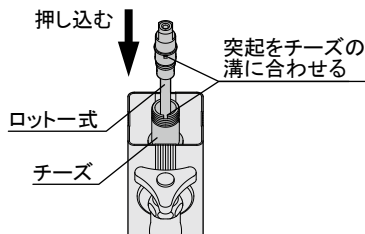
ⓘ モンキーレンチの幅は
チーズの外径に合わせる

3. 交換用ロッターの組み付け

① 交換用ロッター式の突起をチーズの溝に合わせて挿入します。奥までしっかり押し込んで下さい。

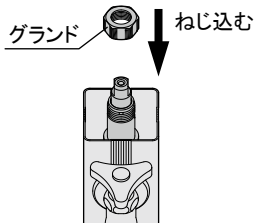
② チーズの溝が浅い場合は調整ワッシャを入れます。

ⓘ 調整ワッシャの向きに注意する



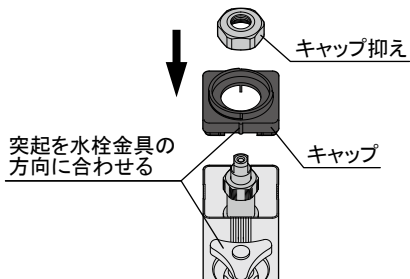
③ グランドをねじ込みます。
(締付トルク: 約 10N・m)
(六角面幅 25mm)

⊘ グランドを強く締めすぎない

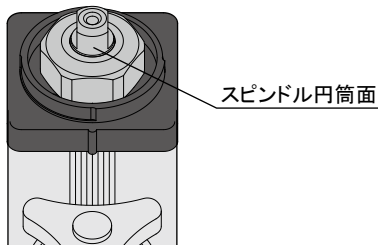


4. ハンドルの組み付け

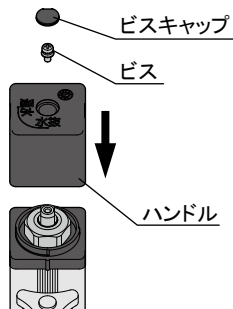
①キャップの突起を水栓金具(蛇口等)に合わせ外筒にはめ、キャップ抑えを手でねじ込みます。(六角面幅34mm)



②スピンドル円筒面が水栓金具(蛇口等)に向いていることを確認します。スピンドル平面が水栓金具(蛇口等)に向いている場合は、工具を使ってスピンドルを回して下さい。



③ハンドルの「水抜」をキャップの突起に合わせて、ビスで取り付け、ビスキャップをはめます。



洗管と作動確認

■洗管

施工後、水栓金具(蛇口等)を全開にし、水を流して配管の洗浄をおこなって下さい。

■作動確認

洗管後、水抜きハンドルを操作して水が抜ける(排水する)ことを確認して下さい。



お問い合わせ先

■お問い合わせのときには最寄の支店・営業所まで次のことお知らせ下さい。

- ・製品名
- ・詳しい状況、内容
- ・その他、お気づきになられたこと
- ・施工日
- ・氏名、住所、電話番号

株式会社 外村製作所

支店・営業所／札幌・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・福島・北関東・新潟・長野・甲府
ホームページアドレス <https://www.takemura-ss.com>

お客様ご相談窓口

フリーダイヤル

イーナフター

0120-107210

月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00